

## 6 グラジオラス白色品種の現地適応性の実証

### ○ 結果の要約

グラジオラス白色品種の12月出し栽培の作型において、「ノバゼンブラ」を選定した。

#### 1 課題の背景とねらい

- (1) 沖永良部地域の主要品目であるグラジオラスは、白色の主要品種である「ソフィー」の球根販売が数年後に終了するため、新たな白色品種の選定が必要である。
- (2) そこで、有望な白系品種を選定する。

#### 2 関係機関団体との連携、役割分担等

園振協沖永良部支部花き技術部会及び各町技連会花き部会と連携し取り組んだ。

#### 3 実証内容

- (1) 実証場所 和泊町H氏露地ほ場
- (2) 品目 グラジオラス
- (3) 耕種概要
  - ア 作型 12月出し
  - イ 定植 令和3年9月30日
  - ウ 栽植様式 株間12cm, 条間15cm, 3条植え
  - エ 施肥 基肥 N : P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> : K<sub>2</sub>O = 12 : 12 : 12 (kg/10a)
- (4) 供試品種・球根重

品種	球根重 g
ソフィー (対照)	36~122
エッセンシャル	49~136
スノードン	54~119
チベット	49~137
ノバゼンブラ	36~124
ビラブランカ	49~138

注) 球根由来  
令和2年度栽培の切下球 (切下球2年目)  
球根購入は令和元年度 (球根重約10g)

#### 4 結果及び考察

- (1) はじめに
  - ア 令和2年度12月出しで選定された品種を供試した。
  - イ 供試した球根は、令和2年度栽培の切下球 (切下球2年目) を用いた。
  - ウ 台風等による大きな気象災害の被害がなく、生育が順調であった。
- (2) 生育開花特性 (表1, 写真1, 写真2)
  - ア 草丈は、対照品種「ソフィー」と同程度以上の品種は、「ノバゼンブラ」と「ビラブランカ」であった。
  - イ 花穂長は、「ソフィー」と同程度以上の品種は、「ノバゼンブラ」であった。
  - ウ 収穫期は、「ソフィー」より早い品種は、「エッセンシャル」、「チベット」、同程度の品種は、「スノードン」、遅い品種は、「ノバゼンブラ」、「ビラブランカ」であった。
  - エ 生産性やボリュームは、「ソフィー」と同程度以上の品種は、「チベット」と「ノバゼンブラ」であった。
  - オ 花容・草姿や花持ちは、供試した全品種「ソフィー」と同程度以上であった。

#### 5 残された課題と対応

植付時期と生産性の検討を行い、研修会等による普及

#### 6 執筆者 渡辺 剛史

表1 グラジオラスの12月出しの生育開花特性

品種	草丈 c m	花穂長 c m	収穫期10% 月/日	収穫期10%ま での日数 日	定植 球数 球	開花 株	ブラインド 株	病害による 枯死 株	採花率 %
ソフィー (対照)	112	58	12/12	73	14	13	0	1	93
エッセンシャル	105	48	12/10	71	25	23	1	1	92
スノードン	106	41	12/13	74	41	24	15	2	59
チベット	105	47	12/6	67	26	25	0	1	96
ノバゼンブラ	122	59	12/20	81	27	25	0	2	93
ビラブランカ	125	51	12/24	85	25	18	2	5	72

注) 収穫期10% : 収穫本数が全収穫本数の10%に到達した日  
 収穫期10%までの日数 : 定植日 (9/30) から収穫期10%までの日数

表1 つづき

品種	評価						備考
	草丈伸長性	生産性	ボリューム	花容・草姿	花持ち	総合	
ソフィー (対照)	—	—	—	—	—	—	
エッセンシャル	△	○	△	○	○	△	茎が軟弱
スノードン	△	△	○	○	○	△	ブラインド多発
チベット	△	○	○	○	○	△	花はクリーム色
ノバゼンブラ	○	○	○	○	○	○	
ビラブランカ	○	△	△	○	○	△	茎が細い

注) 評価は対照品種「ソフィー」との比較, ○ : 同等, △ : 劣る  
 生産性は, ブラインドや病害による枯死を基準にした  
 ボリュームは, 茎の太さや切花重を基準にした



ソフィー



ノバゼンブラ



ソフィー



ノバゼンブラ

写真1 グラジオラスの花容・草姿

撮影日 : 令和3年12月18日  
 写真2 グラジオラスの生育状況